



第2回 長崎大学病院 ICLSコース報告書

長崎大学病院は、救急医療教育の一環として、全研修医の日本救急医学会認定『ICLSアシスタントインストラクター』資格取得を目指しております！



平成25年11月23日(土)開催

**共催:長崎シミュレーション教育研究会
長崎大学病院 医療教育開発センター**
協力: 日本光電九州株式会社

コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

ICLSとは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。身につける行動の目標は以下の通りです。

- 蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- BLS(一次救命処置)に習熟する
- AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- 心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- 除細動の適応を判断できる
- 電気ショックを安全かつ確実にこなうことができる
- 状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- 気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- 状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- 治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

実施結果

受講生11名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。

また、スタッフ(コースディレクター1名、インストラクター3名、アシスタントインストラクター7名)計11名で指導を行い、2ブースを問題なく運営した。

※スタッフ詳細はP.4



◆実施内容◆

開催日時	平成25年11月23日(日) 8:20～16:05		
受講者数	11名		
対象	研修医		
場所	長崎大学病院 シミュレーションセンター、リハビリ室、第四会議室		
スケジュール			
		グループ(1)	グループ(2)
8:00～8:20	0:20	受 付	
8:20～8:30	0:10	オリエンテーション	
8:30～9:05	0:35	BLS+AED	
9:05～9:15	0:10	休憩・移動	
9:15～10:15	1:00	気道管理(A)	モニター (B)
10:15～10:25	0:10	休憩・移動	
10:25～11:25	1:00	モニター (B)	気道管理(A)
11:25～12:15	0:50	昼 食	
12:15～12:20	0:05	BLS・ALSデモンストレーション	
12:20～13:30	1:10	チーム蘇生(B)	チーム蘇生(A)
		VF/VT	VF/VT
13:30～13:40	0:10	休 憩	
13:40～14:25	0:45	non VF/VT (A)	non VF/VT (B)
14:25～14:40	0:15	休憩・移動	
14:40～15:40	1:00	メガコード(A)	メガコード(B)
15:50～16:05	0:15	終了式・修了証授与式	

8:20～8:30 オリエンテーション



コースディレクターの長谷敦子先生が開会の挨拶をされ、インストラクター、アシスタントインストラクターも自己紹介を含めてそれぞれ一言述べました。その後、長谷先生から、講習会の流れと注意事項を参加者に伝え、実習ブースへ移動。

8:30～9:05 BLSとAEDのスキルセッション



さっそくセッション開始です。BLSは全員受講済みなので、基本事項をおさらいし、実習に移りました。

9:15～11:25

BLSが終わったら2グループに分かれ、気道管理、モニター・電気ショックのスキルセッションを行いました。

<モニター・電気ショック>



まず初めに、柴田先生がポスターを使ってALSアルゴリズムを説明しました。



ショックします！

続いて、田下看護師が除細動器の使い方、電気ショックのやり方を説明。その後、全員が一連のシナリオの流れで除細動器を操作したり電気ショックをかけたりし、使い方を学びました。

↑
シナリオ対応

<気道管理>



気道管理の要点は、気道確保、換気、酸素投与の3つ。
換気はバッグバルブマスクを用いて行います。



長谷先生が、気管挿管の手順と、うまく挿管できるポイントを説明し、その後1人1人、挿管を行いました。



バッグバルブマスク換気を行います

12:15～15:40 チーム蘇生のための
シナリオセッション

～午後～



お昼休みが終わったらシナリオ
対応開始。まずスタッフがデモン
ストレーションをしました。
やる方も見るほうも真剣です。



▶
山野先生の
迫真の演技



シナリオ
終了！

パチパチ



シナリオセッションが終わると、受講生の評価だけで
なく、スタッフのよかった点や改善点も振り返ります。

お疲れさまでした！



朝8時から始まった講習も、いよいよ終了です。初めは緊張気味だった受講者たちも、長時間一緒にいることで、すっかり打ち解けたようです。一日お疲れさまでした！

▶ コースディレクターの長谷先生から、修了証と受講カードが、受講生1人1人に手渡されました。みなさん、認定アシスタントインストラクターの資格取得おめでとうございます！



長谷先生と同じく、コースディレクターの山野先生からもご挨拶。スタッフの方々も長時間お疲れさまでした！

◆アンケート◆
受講者からの声

今までは、言われたとおりのことしかできなかったが、これからは積極的にかかわっていける自信ができました

実際の器具を用いてシミュレートすることにより、かなりリアルに学べた。教科書では得られないもので、有意義だった

今まであいまいに流していた部分を学ぶことができた

突然の心停止に対して、どう行動していけばいいか考えて動くことができるようになった

心肺蘇生で、今までモヤモヤしていた部分がクリアになった気がします

フィードバックをもらうことが最も参考になり、有難かったです

スタッフが、楽しく学べるようにシナリオ等盛り上げてくださってとてもよかった

◆アンケート◆ スタッフの声

1) 受講者の態度・意欲はどうだったか？

- ・良好でした。
- ・非常に良かった。
- ・前向きで良かった。
- ・非常に意欲的で、積極的であった。
- ・グループの雰囲気も良かったと思うし、積極的な姿勢だったと思います。
- ・とても積極的で、こちら側も良く刺激されました。
- ・徐々に皆さん積極的になり雰囲気がよかったと思います。

2) 予備知識(予習含む)はどうだったか？

- ・まあまあでした。
- ・予習を含め、予備知識は十分だった。
- ・よく勉強していたと思います。
- ・ICLSの教科書をしっかり読み込んできていた。
- ・良く出来ていたと思います。
- ・知識が豊富だったと感じた。
- ・問題なく、一部不足している部分もチームワークでカバーできていました。
- ・担当したグループが2年目の研修医中心であることもあって十分な知識があった。

3) ディレクター、インストラクター、アシスタント、チューターの指導はどうだったか？

- ・良かったと思います。積極的で熱心でした。
- ・長い間インストをしていなかったのを忘れていたところがあったが、他のインストラクターのインストラクションをみて思い出させてもらった。
- ・非常に良かった。アシスタントは、インストラクターを上回る能力であった。
- ・楽しくできました。お互い勉強になったと喜びました。アシスタントは、よく動いてくれた。
- ・医療知識も豊富で、丁寧で優しい指導を行っており、受講者にとって非常にやりやすい環境作りができていた。
- ・重要な点を補足説明をしてくださいました。
- ・熱心にされていた。みんな積極的でした。
- ・さすがだと思いました。勉強になり、次回に役立てたいと思いました。
- ・よく頑張っていたと思います。アシスタントは十分な知識で指導していたと思いました。
- ・ハイレベルで、とても居心地よい中で過ごさせていただきました。
- ・それぞれの役割を理解し、協力して指導ができた。話しやすく、発言しやすい雰囲気づくりができていた。

●改善点●

- ・次回までにインストラクターマニュアルを作って(シナリオも含めて)それだけ読めば準備できるようにしたいと思います。

準備する資機材リスト(2ブース分)

資機材名	必要数	備考
ハートシム、操作用PC	3	予備の1台を含む
レサシアン	4	1ブースに2
バックバルブマスク	2	
AEDトレーナー	4	複数機種 (うち1台、本物のAEDを日本光電から借用)
気道管理トレーナー	2	
モニター付き除細動器	2	単相性と二相性を1台ずつ (1台は日本光電から借用)
気道管理ボックス	2	各ブースに1箱ずつ
内訳)		
注射器10ml		
バイトブロック		
吸引チューブ		
エアウエイ		
経鼻エアウエイ		
聴診器		
ポケットマスク		
喉頭鏡(4.0)		
喉頭鏡柄		
チューブ固定具		
酸素マスク		
酸素カニューラ		
挿管チューブ		
スタイレット		
CO2チェッカー		
テープ		
点滴	2	各ブースに1つずつ
点滴スタンド	2	各ブースに1つずつ
ワゴン	2	
骨髄針	1~2	日本光電から借用
聴診器	2	
アルコール綿	多めに	
タオル	4	
ホワイトボード	2	
ホワイトボードマーカー4色	8	
ストップウォッチ	2	
メトロノーム	2	
延長コード	4	

長崎大学病院

医療教育開発センター

〒852-8501

長崎市坂本1丁目7番1号

電話 (095) 819-7881

FAX (095) 819-7882